



博士人材データベース（JGRAD）の パイロット運用状況

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ



博士人材データベース(JGRAD)構築の背景・目的

- ・博士人材は、持続的な科学技術イノベーションの主たる担い手
- ・博士人材を取り巻く状況は厳しく、かつ社会全体における博士人材の活躍状況の把握・提示がなされておらず、キャリアパスの不透明さを招来
 - ⇒ 優秀な学生が博士課程進学を躊躇
 - ⇒ 科学技術イノベーションの停滞



博士人材のキャリアパスの把握・可視化に向けた取組



継続的・持続的な進路状況把握システム(プラットフォーム)としての「博士人材データベース」(JGRAD)の構築

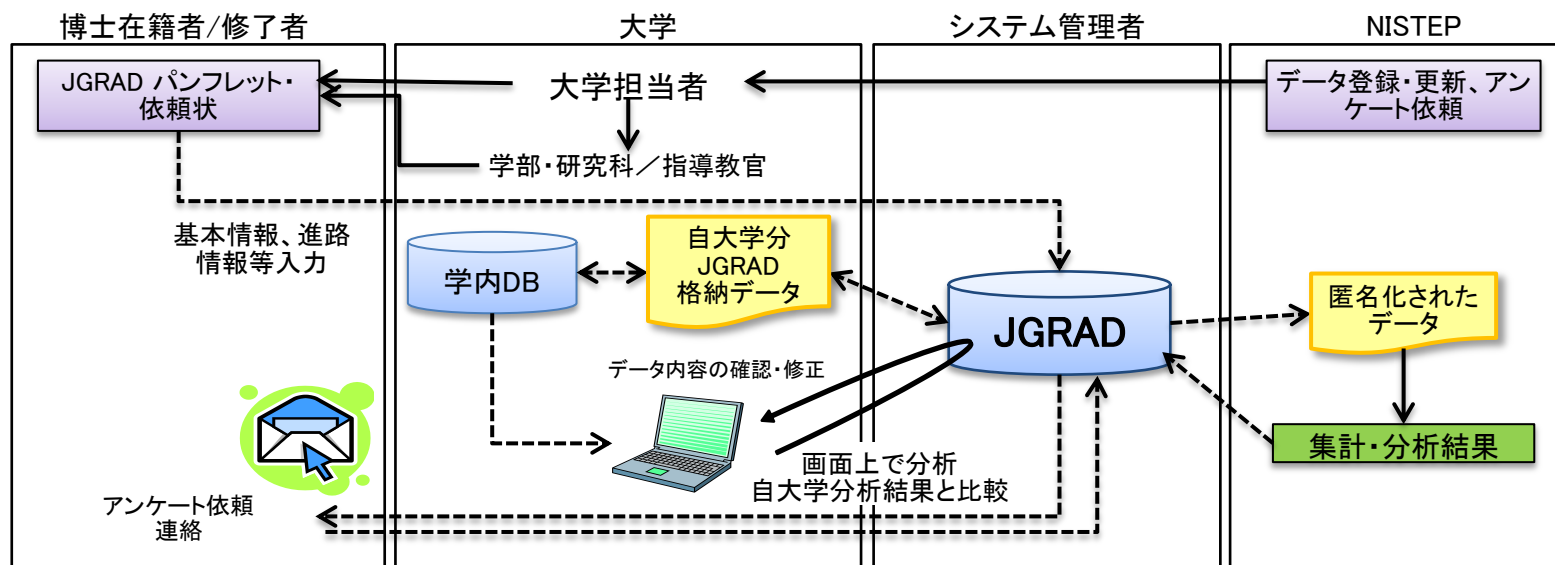


修了年を特定した博士課程修了者全数調査としての「博士人材追跡調査」(JD-Pro)の実施

博士人材データベース(JGRAD)の概略

1. 平成26年度以降の博士課程修了者(年間約15,000人修了)を登録対象者とし、博士課程在籍時の基本・属性情報と博士課程修了後の進路情報を収集する。
－ 修了者個人が直接情報を入力・更新する画期的な進路追跡システム －
2. NISTEPは匿名化したデータを収集して進路状況や雇用条件等の分析を行い、各大学にフィードバックするとともに、**博士等高度専門人材の育成のための政策立案に役立てる**。大学は個票データ等を活用し、キャリア構築支援・認証評価等に役立てる。

博士人材データベース(JGRAD) システムフローの例：登録者が博士人材DBに直接情報を入力する場合



人材育成に関する目標設定と結果の把握： 教育研究状況と進路動向の解析により、大学の認証評価や法人評価に必要な人材育成効果のエビデンス・指標を把握

学生・修了者の活動や進路動向の把握： システム上のアンケート機能等を活用した在籍者・修了者の活動や進路動向の把握と適時な支援

修了生とのネットワーク維持： 博士課程修了者ネットワークの構築や同窓会名簿の作成、寄附金募集

自大学と全体との分布比較：

(例) 性別、年齢、学生種別(一般/社会人)、国籍、日本学術振興会特別研究員、学費免除、分野、自大学出身、進路区分、インターンシップ経験等の比較が可能

従来調査の効率化： 文部科学省・NISTEPが実施している、博士課程在籍者・修了者等を対象とした各種調査における事務的な負担の軽減

登録者に対するインセンティブ

(一部は近日提供予定、検討継続中)



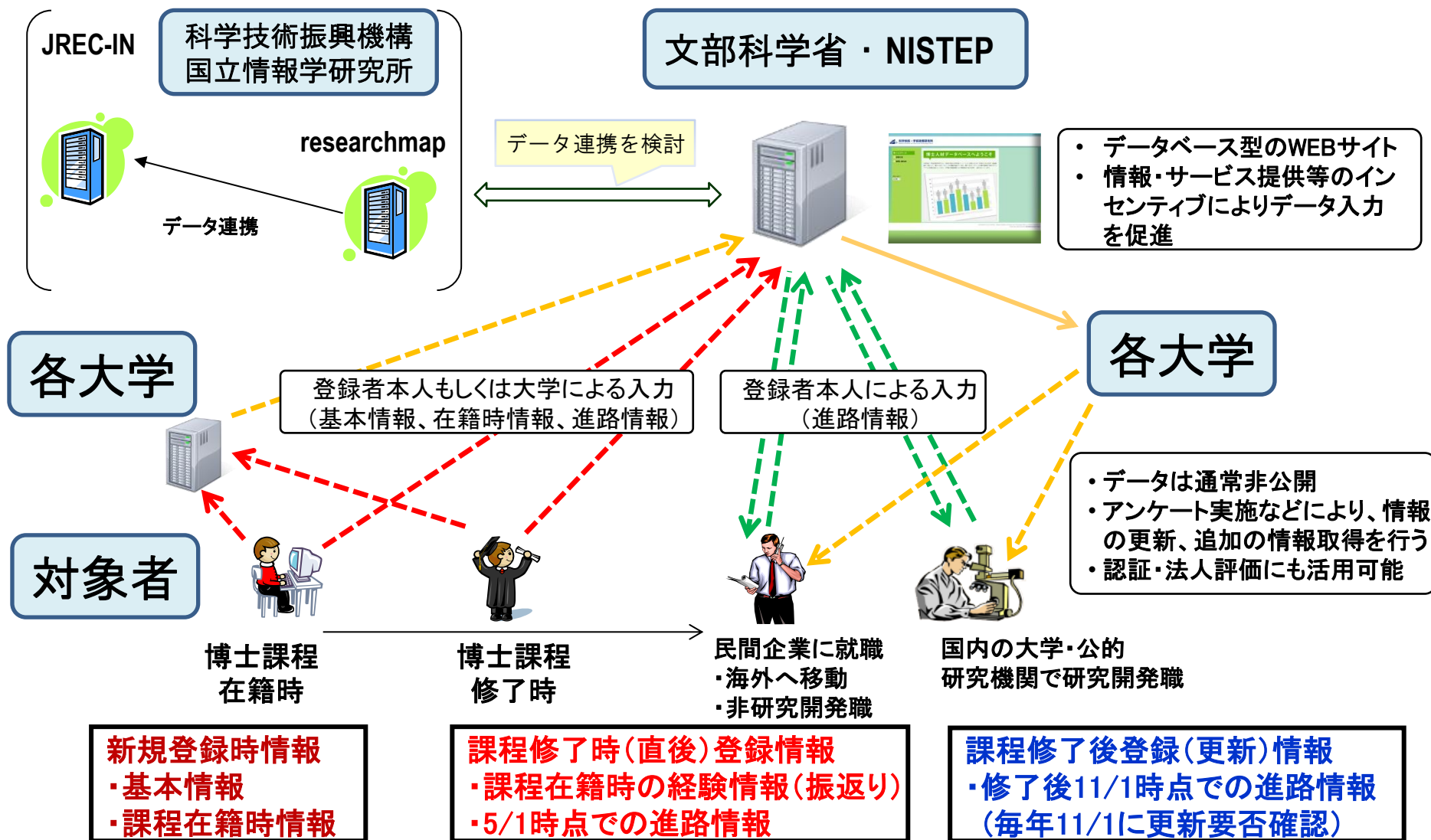
キャリア構築支援: 企業・公的研究機関・大学とのマッチング
(自己の能力の発信)、奨学金・ポスト・海外研究活動・インターン
シップ等に関する情報の取得

キャリア構築の参考情報: 自校出身他登録者のキャリア情報
を個人単位で閲覧・検索する機能により、ロールモデルやメンター
の探索が可能

博士間のコミュニケーション: 大学・研究科・所属研究室単位
や留学生同士の交流の場としての利用

修了後のサービス: 学位取得証明書・成績証明書の発行依頼、
指導教員への修了後の進路情報のフィードバック

博士人材データベースにおける博士課程在籍者・ 修了者からの情報収集の仕組み



博士課程在学中の入力項目

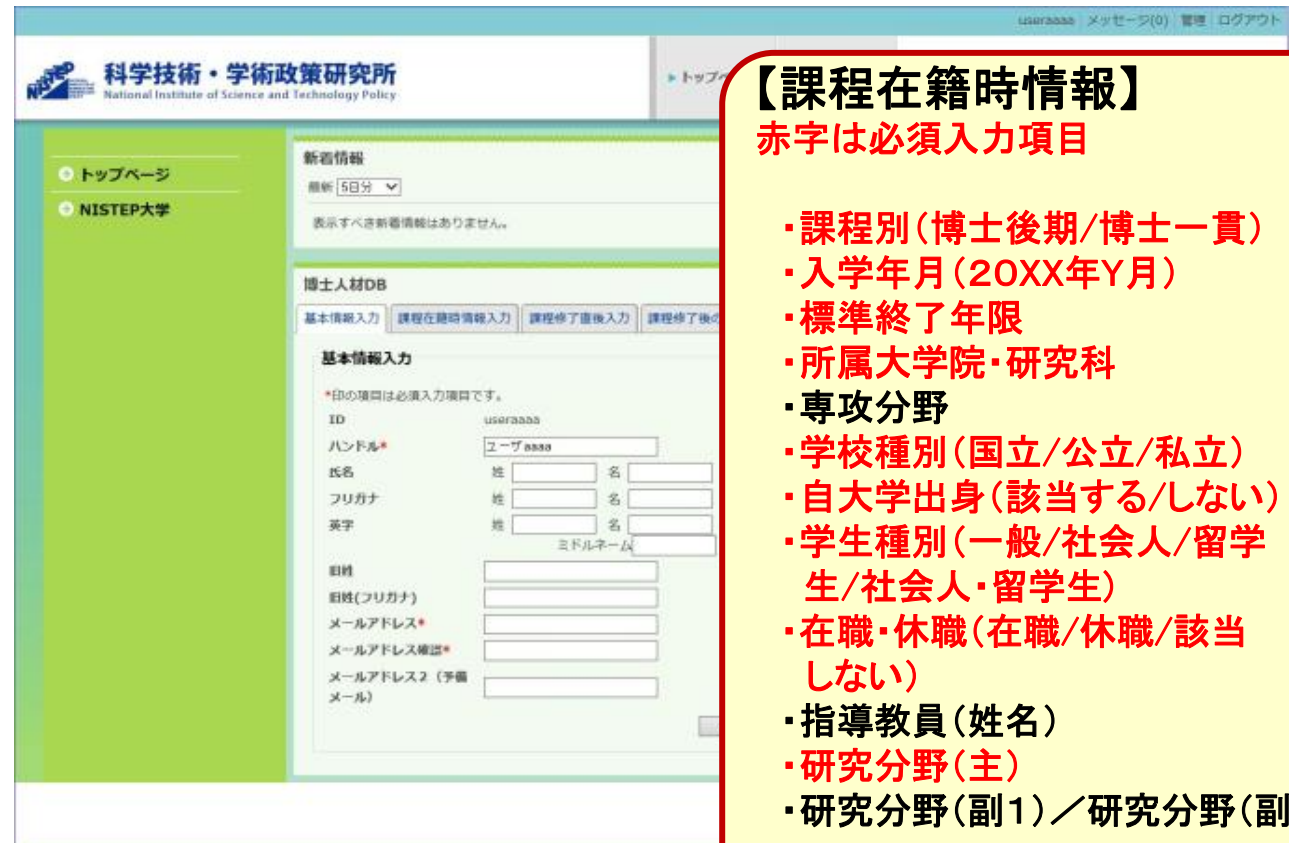
- ① 基本情報(生年月、性別、国籍等)
- ② 課程在籍時情報(所属大学院・研究科、研究分野等)

①、②合わせて
入力所要時間は
10分程度

【基本情報】

赤字は必須入力項目

- ・ID(各学生に付与)
- ・ハンドルネーム
- ・氏名
- ・フリガナ
- ・英字
- ・ミドルネーム
- ・旧姓
- ・旧姓フリガナ
- ・メールアドレス
- (修了後も使えるもの)
- ・メールアドレス確認
- ・メールアドレス2(予備)
- ・性別(男性・女性選択)
- ・生年月
- ・国籍
- ・パスワード



【課程在籍時情報】

赤字は必須入力項目

- ・課程別(博士後期/博士一貫)
- ・入学年月(20XX年Y月)
- ・標準終了年限
- ・所属大学院・研究科
- ・専攻分野
- ・学校種別(国立/公立/私立)
- ・自大学出身(該当する/しない)
- ・学生種別(一般/社会人/留学生/社会人・留学生)
- ・在職・休職(在職/休職/該当しない)
- ・指導教員(姓名)
- ・研究分野(主)
- ・研究分野(副1)／研究分野(副2)

博士課程修了時(直後)/修了後

- ・博士課程修了時(直後)の入力項目: ① 博士課程在籍時の経験
② 5/1での進路情報
- ・博士課程修了後の入力項目: 11/1での進路情報(毎年11月に確認)

【博士課程在籍時の経験等】

赤字は必須入力項目

- ・課程修了の有無(修了/中退)
- ・課程修了/退学年月
- ・学位取得の有無
- ・学位取得の年月
- ・取得学位

【課程在籍時の経験】

- ・日本学術振興会特別研究員
- ・学費免除
- ・日本学生支援機構奨学金
- ・査読付論文数(英語/日本語)
- ・国際/国内会議・学会発表(査読付)
- ・上記以外の学会・講演会等発表
- ・その他の成果(著書・受賞等)
- ・特許出願本数(海外含む)
- ・平均的滞在時間/週
- ・平均的学習時間/週
- ・TA/RA経験
- ・海外研究活動経験
- ・インターンシップ経験

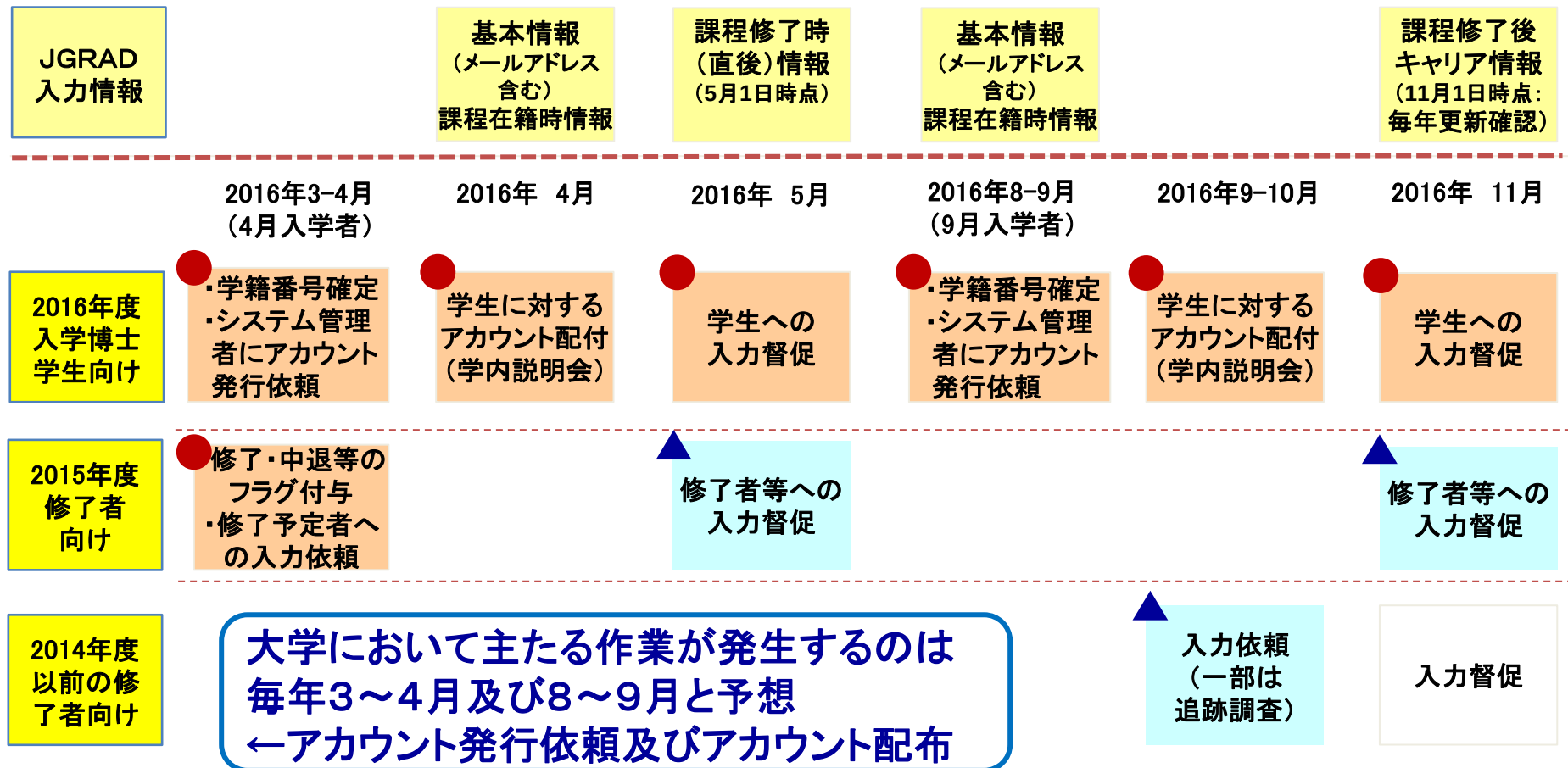
修了直後の5月に入力依頼、同年11月に確認。
以降、毎年11月に更新の要否を確認。

【修了(直)後進路情報】

赤字は必須入力項目

- ・進路情報選択(就労/進学/その他)
- ・有職/復職
- ・複数の仕事
- ・所属開始年月
- ・所属先機関種別(大学等/企業...)
- ・所属先機関名
- ・所属先機関名
- ・所在(国・地域・都道府県)
- ・職種・職位
- ・役職・職名
- ・所定労働時間/週
- ・雇用期間(定め無し/1年以上/1年未満)
- ・雇用形態
- ・産業分類
- ・職業分類

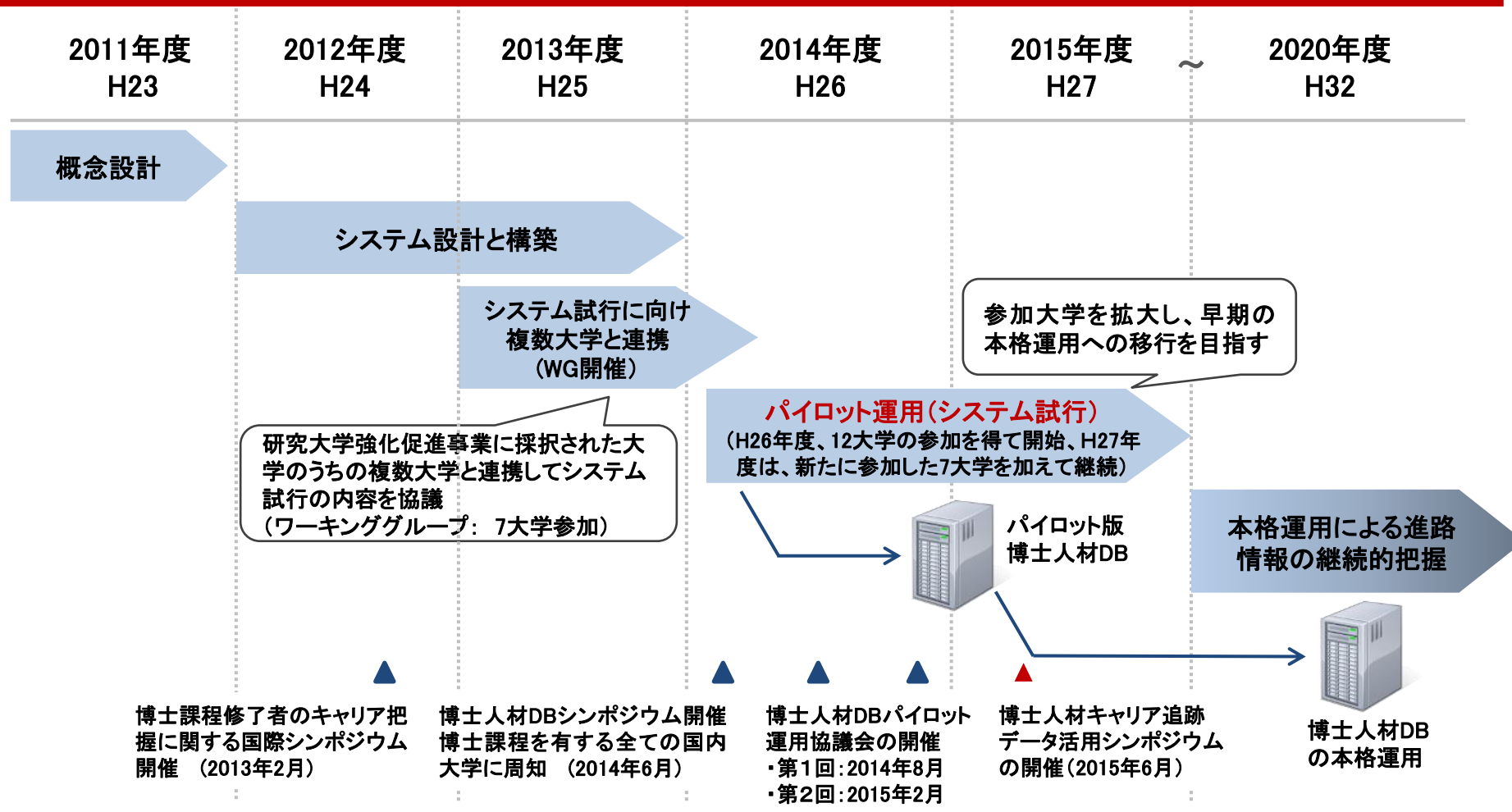
博士人材データベースにおける情報取得に向けた 手続と時期（2016年を想定）



 : 大学において発生する作業
 : 大学に協力を依頼する可能性のある作業

博士人材データベースの構築・運用スケジュール

— 現在は19大学参加によるパイロット(試行)運用段階 —



博士人材データベースのパイロット運用への大学の参加状況 (平成27年6月1日時点)



大学名（位置順：北から）	後期博士学生数	8/7 パイロット 運用協議会参加	2/2 パイロット 運用協議会 参加	研究大学強化 促進事業	H25年度 WG参加
北海道大学	2,416	○	○	○	○
筑波大学	2,280	○	○	○	
お茶の水女子大学	466	○	○		
東京医科歯科大学	1,118	○	○	○	
東京工業大学	1,553	○	○	○	
東京農工大学	496	○	○		
慶應義塾大学	1,214	○	○	○	○
大阪大学	3,120	○	○	○	○
神戸大学	1,589	○	○	○	○
奈良先端科学技術大学院大学	297	○	○	○	○
岡山大学	1,231	○	○	○	
広島大学	1,668	○	○	○	
東北大学	2,735			○	
東京大学	6,037		○	○	
東京理科大学	285	○	○		
豊橋技術科学大学	108		○	○	
京都大学	3,647		○	○	○
九州大学	2,694		○	○	
熊本大学	710		○	○	
千葉大学	1,226		○		
新潟大学	726				
早稲田大学	2,072		○	○	
電気通信大学	257	○	○	○	
金沢大学	986				
名古屋大学	2,285	○	○	○	○
長崎大学	658	○	○		

※後期博士学生数は平成24年度データ、慶應義塾大学・早稲田大学・豊橋技術科学大学・東京理科大学は平成26年度データ

※上記青字の大学名は平成26年度博士人材DBパイロット運用参加校(12校)

※上記赤字の大学名は平成27年度博士人材DBパイロット運用参加予定校(2015年5月時点で7校)

博士人材データベースのパイロット運用への 大学・学生の参加状況

1. パイロット運用に際し、各大学にて全学科参加／一部研究科参加を選択
(全学科参加) 東京医科歯科大、東京農工大、お茶の水女子大、
神戸大、奈良先端大(課程3年)、岡山大、広島大、
東京理科大、豊橋技科大、東北大 (10大学)
2. 「博士人材データベースのパイロット運用に関する協議会」(平成26年8月7日、平成27年2月2日)において、システム運用状況・手順等を協議
3. 平成26年10月以降、パイロット運用参加大学において、学内説明会を開催(慶応大、奈良先端大、北大、岡山大)
4. 第2回パイロット運用協議会(平成27年2月)を経て、新たに7大学が平成27年度からのパイロット運用への参加を決定
5. 登録開始から現在まで、メールアドレスを含む基本情報を入力した学生数は1,000名余

1. 博士課程在籍者の入力率の向上

- 平均入力率(メールアドレスを含む基本情報入力者数/アカウント取得者数)は、まだ4分の1弱(22.4%)

〔高入力率大学の例〕 慶應大:63%、北大:62%

⇒ 入力率向上に向けた登録者へのインセンティブ付与

2. 大学による修了者・中途退学の認定(フラグ付与)

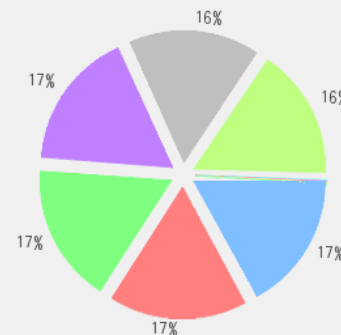
⇒ 博士人材データベースによる2014年度修了者への修了後キャリア動向調査(本年11月実施予定)に必要

クロス条件

条件1 職種・職位(中分類)

条件2 ー指定しないー

職種・職位(中分類) (n = 100)



JGRAD上に表示された修了後キャリア動向調査結果の想定イメージ例

- ポストドクター等 (17%)
- 大学教員 (17%)
- 研究・開発職(公的研究機関) (17%)
- 研究・開発職(民間企業) (17%)
- 研究・開発職(その他の機関) (16%)
- その他の研究・開発関連職 (16%)
- 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師 (0%)
- 専門知識を要する職 (0%)
- その他の非研究・開発関連職 (0%)
- 未定・その他 (0%)

大学における取組例： 慶應義塾大学

平成26年度、理工学研究科後期博士課程(300名)にてパイロット運用に参加

【ID受領・説明会の開催】

- ・平成26年9月 : NISTEP/野村総研より、ID・パスワード受領
- ・平成26年9月中旬 : 学内説明会の広報
 - 掲示版への掲示
 - 慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)博士助成金採択者へのメール連絡
- ・平成26年10月8日 : 学内説明会(約100名参加)
 - ID・パスワード配布
 - 実際の入力デモを含む説明



学内説明会:平成26年10月8日

【説明会以降】

- ・平成26年10－11月: 説明会欠席者への登録依頼(社会人学生への郵送含む)
- ・平成27年1月: 未登録者に対する再度の登録依頼
- ・平成27年4月: 平成27年4月入学者(62名)へのID・パスワード配布(指導教員経由)

⇒平成27年5月現在、ID受領学生362名中227名(63%)が基本情報登録

1. 学内サービス提供と連携した登録依頼 ⇒ 登録率向上
2. 修了者認定(フラグ付与)の推進 ⇒ 修了後キャリア動向調査の実施(2015年11月予定)
3. 参加大学・参加研究科・登録学生の拡大
⇒ 博士人材の活躍状況の
網羅的把握・可視化
(JGRAD構築目的の達成)



エビデンスに基づく大学院教育・博士人材支援施策の効果の検証
より効果的なカリキュラム・人材施策による大学・学生の受益の増大

博士人材データベース(JGRAD)へのご参加・ご協力、よろしくお願いいたします！

ログイン

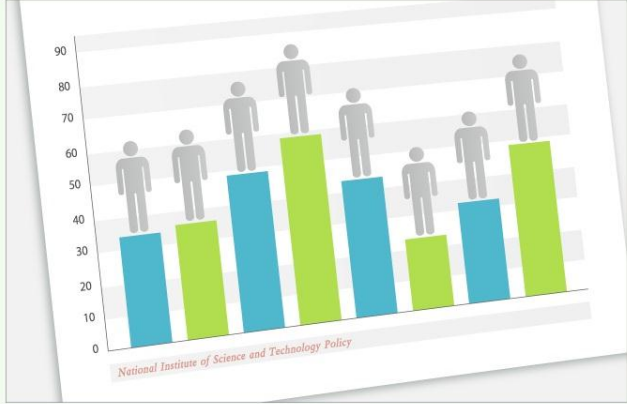
科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

トップページ
お知らせ
お問い合わせ

言語の選択:
日本語 ▼

博士人材データベースへようこそ

科学技術・学術政策研究所では、文部科学省の科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業の一環として、博士人材データベースの構築を進めています。博士人材データベースは博士課程修了者のキャリアパスの把握を目的としており、大学等の関連機関からの情報提供や協力を得て、設計を行っています。



COPYRIGHT © 2014 NISTEP - National Institute of Science and Technology Policy, ALL RIGHTS RESERVED.
Powered by NetCommons2 The NetCommons Project

<http://www.nistep.go.jp/research/jgrad>